



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月5日

上場会社名 株式会社 東邦銀行 上場取引所 東
 コード番号 8346 URL <http://www.tohobank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 佐藤 稔
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 田辺 直之 (TEL) 024-523-3131
 四半期報告書提出予定日 2020年8月5日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,700	△20.2	1,989	86.5	1,308	90.0
2020年3月期第1四半期	18,419	10.6	1,067	△56.2	688	△59.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 3,171百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △2,253百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.19	—
2020年3月期第1四半期	2.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,237,206	193,653	3.1
2020年3月期	6,020,752	190,985	3.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 193,653百万円 2020年3月期 190,985百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	4.00	—	2.00	6.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,000	△13.8	3,700	△1.6	2,300	△9.5	9.12
通期	58,000	△8.6	7,500	71.4	5,000	83.3	19.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期1Q	252,500,000株	2020年3月期	252,500,000株
2021年3月期1Q	442,972株	2020年3月期	442,963株
2021年3月期1Q	252,057,045株	2020年3月期1Q	252,057,422株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) 追加情報	6
(参考資料)	
2020年度第1四半期決算説明資料	7～13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

経常収益は、国債等債券売却益の減少などにより、前年同期比37億19百万円減少し147億円となりました。

経常費用は、与信関係費用の減少などから、前年同期比46億41百万円減少し127億11百万円となりました。

以上から、経常利益は前年同期比9億22百万円増加し19億89百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増益に伴い前年同期比6億19百万円増加し、13億8百万円となりました。

なお、業務の根幹をなすコアの利益である「コア業務純益」は、経費圧縮に努めましたが、有価証券利息減を主要因とした資金利益の減少などにより、前年同期比6億31百万円減少し20億44百万円となりました。

セグメントごとの財政状態および経営成績の状況に関する認識および分析・検討内容は次のとおりであります。

○銀行業

経常収益は、国債等債券売却益の減少などにより、前年同期比39億56百万円減少し130億48百万円となりました。また、セグメント利益は与信関係費用の減少などから前年同期比5億93百万円増加し20億76百万円となりました。

○信用保証業

経常収益は、前年同期比36百万円増加し5億68百万円となりました。またセグメント利益は与信関係費用の減少などから前年同期比2億69百万円増加し4億10百万円となりました。

○その他

グループ会社の業務収益の増加などにより、経常収益は前年同期比2億76百万円増加し27億89百万円、セグメント利益は経常収益の増加に伴い前年同期比1億33百万円増加し5億93百万円となりました。

金融機関を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、引き続き貸出金の増強、預かり資産をはじめとした役務取引等利益の拡大に努めるとともに、全庁的なコスト圧縮に取り組んでいく方針であります。

(2) 財政状態に関する説明

主要勘定の動向

A. 預金・譲渡性預金等

譲渡性預金を含む総預金は、個人預金および法人預金が引続き順調に推移し、前年度末比1,859億円増加し5兆9,673億円となりました。

B. 貸出金

事業性貸出および公共貸出の増加などにより、前年度末比2,130億円増加し4兆684億円となりました。

C. 有価証券

世界的な超金融緩和環境が続く中、中長期的な金利リスク回避に配慮しつつ効率的な運用に努めた結果、前年度末比69億円減少し3,525億円となりました。

D. 連結自己資本比率

連結自己資本比率は9.02%と引き続き十分な水準を維持しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、今後、新型コロナウイルス感染症の状況等に変化が生じ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
現金預け金	1,619,581	1,625,411
買入金銭債権	12,596	12,259
商品有価証券	16	8
金銭の信託	7,450	7,550
有価証券	359,468	352,536
貸出金	3,855,393	4,068,452
外国為替	1,203	2,380
リース債権及びリース投資資産	12,403	12,289
その他資産	112,540	113,570
有形固定資産	37,795	37,448
無形固定資産	5,414	5,920
繰延税金資産	9,720	8,735
支払承諾見返	5,582	9,475
貸倒引当金	△18,414	△18,833
資産の部合計	6,020,752	6,237,206
負債の部		
預金	5,316,600	5,505,829
譲渡性預金	464,867	461,564
借入金	2,806	27,802
外国為替	153	241
信託勘定借	969	1,266
その他負債	28,225	27,004
退職給付に係る負債	6,331	6,112
睡眠預金払戻損失引当金	659	659
偶発損失引当金	284	264
ポイント引当金	166	171
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	299	365
再評価に係る繰延税金負債	2,821	2,795
支払承諾	5,582	9,475
負債の部合計	5,829,766	6,043,553
純資産の部		
資本金	23,519	23,519
資本剰余金	13,653	13,653
利益剰余金	152,453	153,316
自己株式	△145	△145
株主資本合計	189,480	190,343
その他有価証券評価差額金	4,874	6,564
土地再評価差額金	441	382
退職給付に係る調整累計額	△3,810	△3,637
その他の包括利益累計額合計	1,505	3,309
純資産の部合計	190,985	193,653
負債及び純資産の部合計	6,020,752	6,237,206

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
経常収益	18,419	14,700
資金運用収益	8,929	8,484
(うち貸出金利息)	7,058	6,908
(うち有価証券利息配当金)	1,620	1,328
信託報酬	—	0
役務取引等収益	3,580	3,274
その他業務収益	5,261	2,041
その他経常収益	648	900
経常費用	17,352	12,711
資金調達費用	199	124
(うち預金利息)	153	106
役務取引等費用	1,377	1,303
その他業務費用	1,693	1,626
営業経費	9,188	8,944
その他経常費用	4,893	712
経常利益	1,067	1,989
特別利益	—	0
固定資産処分益	—	0
特別損失	16	98
固定資産処分損	16	21
減損損失	—	77
金融商品取引責任準備金繰入額	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,050	1,891
法人税、住民税及び事業税	1,182	371
法人税等調整額	△819	211
法人税等合計	362	582
四半期純利益	688	1,308
親会社株主に帰属する四半期純利益	688	1,308

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	688	1,308
その他の包括利益	△2,942	1,862
その他有価証券評価差額金	△3,078	1,690
退職給付に係る調整額	135	172
四半期包括利益	△2,253	3,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,253	3,171

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書における「貸倒引当金の計上基準」の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

(参考資料)

2020年度第1四半期 決算説明資料

1. 損益の状況 【単体】
2. 業績の状況 【単体】
3. 自己資本比率 【連結・単体】
4. 金融再生法開示債権 【単体】
5. 損益の内訳 【単体】

1. 損益の状況【単体】

(1) 経常収益 130億48百万円 <前年同期比 △39億56百万円(△23.3%)>

国債等債券売却益の減少などにより、経常収益は減収となりました。

(2) コア業務純益 20億38百万円 <前年同期比 △7億19百万円(△26.1%)>

業務改革(BPR)およびコスト構造改革による経費圧縮に努めましたが、有価証券利息減を主要因とした資金利益の減少などにより、コア業務純益は減益となりました。

(3) 経常利益 20億76百万円 <前年同期比 +5億93百万円(+40.0%)>

与信関係費用の減少を主要因に、経常利益は増益となりました。

(4) 四半期純利益 15億28百万円 <前年同期比 +3億77百万円(+32.8%)>

経常利益が増益となったことから、四半期純利益は増益となりました。

【参考】お客さま向けサービス(本業)業務利益(※) 63百万円 <前年同期比 △5億88百万円>

(※) 預貸金利益(貸出金平残×預貸金利回り差)+役員取引等利益+金利スワップ等収益-経費

お客さまとのお取引を通じた業務利益は、前年同期比減益となりましたが、前年に引き続き黒字となりました。

(単位:百万円)

	2019年度 第1四半期 (3ヵ月)	2020年度 第1四半期 (3ヵ月)	前年同期比	2020年度 第2四半期 業績予想 (注)
(1) 経常収益	17,005	13,048	△3,956	
コア業務粗利益 ①	11,313	10,316	△996	
資金利益	9,213	8,861	△351	
役員取引等利益	1,742	1,480	△261	
その他業務利益(除く国債等債券関係損益)	357	△25	△383	
経費 ②	8,555	8,278	△277	
うち人件費	4,383	4,186	△197	
うち物件費	3,638	3,569	△68	
(2) コア業務純益 (①-②)	2,757	2,038	△719	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	2,711	1,741	△969	
有価証券関係損益	2,607	80	△2,527	
国債等債券関係損益	2,831	9	△2,822	
株式等関係損益	△230	65	295	
金銭の信託運用損益	5	5	0	
与信関係費用 (A+B-C)	4,070	380	△3,690	
一般貸倒引当金繰入額 (A)	△352	205	558	
不良債権処理額 (B)	4,423	177	△4,245	
貸倒引当金戻入益等 (C)	0	3	3	
その他臨時損益	188	337	148	
(3) 経常利益	1,483	2,076	593	3,700
特別損益	△15	△98	△82	(進捗率 56.1%)
税引前四半期純利益	1,467	1,977	510	
税金費用	316	449	132	
(4) 四半期純利益	1,151	1,528	377	2,300
【参考】				(進捗率 66.5%)
お客さま向けサービス(本業)業務利益	652	63	△588	

(注)業績予想につきましては、2020年5月13日公表の数値から変更ありません。

2. 業績の状況【単体】

(1) 総預金(譲渡性預金含む)、預かり資産

A. 総預金 **5兆9,824億円** <前年同期比 **+2,780億円(+4.9%)**>

個人預金・法人預金が引続き順調に推移(+2,670億円)し、**前年同期比2,780億円増加(+4.9%)**しました。

B. 預かり資産 **4,162億円** <前年同期比 **△223億円(△5.1%)**>

預金以外の預かり資産は、投資環境の悪化等により**前年同期比223億円減少(△5.1%)**しました。

(単位:億円)

	2019年6月末	2020年3月末	2020年6月末		
				2019年6月末比	2020年3月末比
総預金	57,043	57,964	59,824	2,780	1,859
個人預金	32,421	32,706	34,073	1,652	1,366
法人預金	12,789	12,506	13,807	1,017	1,300
公金預金等	11,833	12,751	11,943	110	△807

(注)総預金は、譲渡性預金を含んでおります。

(単位:億円)

	2019年6月末	2020年3月末	2020年6月末		
				2019年6月末比	2020年3月末比
預かり資産	4,386	4,044	4,162	△223	118
生命保険	3,136	2,989	3,072	△64	82
投資信託	775	664	728	△46	64
公共債	474	390	362	△112	△28

C. 総預かり資産 6兆3,987億円 <前年同期比 +2,556億円(+4.2%)>

総預金と預かり資産を合計した総預かり資産は、主に個人預金・法人預金の増加により前年同期比2,556億円増加(+4.2%)しました。

(単位:億円)

	2019年6月末	2020年3月末	2020年6月末		
			2019年6月末比	2020年3月末比	
総預かり資産 (総預金+預かり資産)	61,430	62,009	63,987	2,556	1,977
総預金	57,043	57,964	59,824	2,780	1,859
預かり資産	4,386	4,044	4,162	△223	118

(注)総預金は、譲渡性預金を含んでおります。

(2)貸出金(含む私募債)

貸出金(含む私募債) 4兆1,544億円 <前年同期比 +4,339億円(+11.7%)>

取引先企業や個人のお客さまのニーズに幅広く積極的にお応えした結果、前年同期比4,339億円増加(+11.7%)しました。

(単位:億円)

	2019年6月末	2020年3月末	2020年6月末		
			2019年6月末比	2020年3月末比	
貸出金(含む私募債)	37,204	39,405	41,544	4,339	2,139
貸出金	36,452	38,628	40,757	4,305	2,129
事業性貸出	15,509	15,499	15,860	350	361
個人ローン	8,166	8,235	8,133	△33	△101
公共貸出	12,775	14,893	16,764	3,988	1,870
私募債	752	776	786	33	9

(注)2020年4月1日より、個人ローンに含まれるアパートローンの内、一定残高以上を事業性貸出として管理しております。

なお、同基準を適用した場合の2019年6月末および2020年3月末の事業性貸出および個人ローンの残高は以下のとおりです。

(単位:億円)

	2019年6月末	2020年3月末	2020年6月末		
			2019年6月末比	2020年3月末比	
事業性貸出	15,573	15,560	15,860	287	300
個人ローン	8,103	8,174	8,133	30	△41

(3) 有価証券

有価証券 3,567億円 <前年同期比 △671億円(△15.8%)>

世界的な超金融緩和環境が続く中、中長期的な金利リスク回避に配慮しつつ効率的な運用に努めた結果、期末残高は前年同期比671億円減少(△15.8%)しました。

(単位:億円)

	2019年6月末	2020年3月末	2020年6月末	2020年6月末比	
				2019年6月末比	2020年3月末比
有価証券	4,238	3,639	3,567	△671	△72
国債	561	477	495	△66	18
地方債	619	398	376	△243	△21
社債	1,239	1,169	1,172	△66	2
株式	427	389	409	△18	20
その他の証券	1,390	1,204	1,114	△276	△90

(単位:億円)

	2019年6月末	2020年3月末	2020年6月末	2020年6月末比	
				2019年6月末比	2020年3月末比
その他有価証券評価損益	90	63	85	△4	21
株式	65	60	83	18	23
債券	29	14	12	△17	△2
その他	△6	△11	△10	△4	0

3. 自己資本比率【連結・単体】

連結自己資本比率 9.02% <2020年3月末比 +0.06%>

連結自己資本比率は9.02%と引き続き十分な水準を維持しております。

【国内基準】

(単位:億円)

		2020年3月末	2020年6月末	2020年6月末比	
				2020年3月末比	
連結	自己資本(A)	1,878	1,892	13	
	リスクアセット等(B)	20,968	20,969	1	
	自己資本比率(A÷B)	8.96%	9.02%	0.06%	
単体	自己資本(C)	1,818	1,833	14	
	リスクアセット等(D)	20,878	20,884	5	
	自己資本比率(C÷D)	8.71%	8.77%	0.06%	

4. 金融再生法開示債権(正常債権除く)【単体】

金融再生法開示債権 **338億円** <前年同期比 +4億円>
 (総与信に対する比率 **0.81%** <前年同期比 $\Delta 0.08\%$ >)
 総与信に対する比率は**0.81%**と引続き極めて低い水準になっております。

【参考】部分直接償却を実施した場合 **257億円** <前年同期比 $\Delta 6$ 億円>
 当行は、部分直接償却を実施しておりませんが、仮に部分直接償却を実施した場合は
 前年同期比**6億円減少**となります。

(単位:億円)

	2019年6月末	2020年3月末	2020年6月末		
			2019年6月末比	2020年3月末比	
金融再生法開示債権	334	327	338	4	11
破産更生債権等	126	128	125	$\Delta 1$	$\Delta 3$
危険債権	185	148	161	$\Delta 23$	13
要管理債権	22	50	51	28	1
総与信	37,294	39,479	41,661	4,367	2,182
総与信比	0.89%	0.82%	0.81%	$\Delta 0.08\%$	$\Delta 0.01\%$

【参考】部分直接償却を実施した場合

(単位:億円)

	2019年6月末	2020年3月末	2020年6月末		
			2019年6月末比	2020年3月末比	
金融再生法開示債権	263	245	257	$\Delta 6$	12
総与信	37,224	39,397	41,580	4,356	2,183
総与信比	0.70%	0.62%	0.61%	$\Delta 0.09\%$	$\Delta 0.01\%$

5. 損益の内訳【単体】

(単位:百万円)

	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減	
			増減	増減率
経常収益	17,005	13,048	△ 3,956	△ 23.3%
業務粗利益 ①	14,145	10,326	△ 3,819	△ 27.0%
(コア業務粗利益) A	(11,313)	(10,316)	(△ 996)	(△ 8.8%)
資金利益	9,213	8,861	△ 351	△ 3.8%
役務取引等利益	1,742	1,480	△ 261	△ 15.0%
その他業務利益	3,189	△ 16	△ 3,206	—
うち国債等債券関係損益(5勘定戻) ②	2,831	9	△ 2,822	△ 99.7%
うち金利スワップ等収益	526	32	△ 493	△ 93.8%
経費(除く臨時処理分)	8,555	8,278	△ 277	△ 3.2%
人件費	4,383	4,186	△ 197	△ 4.5%
物件費	3,638	3,569	△ 68	△ 1.9%
税金	533	522	△ 11	△ 2.2%
実質業務純益	5,589	2,047	△ 3,541	△ 63.4%
(コア業務純益) B	(2,757)	(2,038)	(△ 719)	(△ 26.1%)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	(2,711)	(1,741)	(△ 969)	(△ 35.8%)
一般貸倒引当金繰入額 ③	△ 352	205	558	—
業務純益 ④	5,942	1,842	△ 4,099	△ 69.0%
臨時損益	△ 4,459	233	4,693	—
不良債権処理額 ⑤	4,423	177	△ 4,245	△ 96.0%
個別貸倒引当金繰入額	4,409	136	△ 4,272	△ 96.9%
偶発損失引当金繰入額	△ 30	△ 10	20	—
債権売却損等	44	51	6	15.3%
償却債権取立益 ⑥	0	3	3	—
株式等関係損益(3勘定戻) ⑦	△ 230	65	295	—
金銭の信託運用損益 ⑧	5	5	0	1.5%
その他臨時損益	188	337	148	79.0%
経常利益	1,483	2,076	593	40.0%
特別損益	△ 15	△ 98	△ 82	—
うち固定資産処分損益	△ 15	△ 21	△ 5	—
固定資産処分益	—	0	0	—
固定資産処分損	15	21	5	37.4%
うち固定資産減損損失	—	77	77	—
税引前四半期純利益	1,467	1,977	510	34.8%
法人税等合計	316	449	132	42.0%
法人税、住民税及び事業税	1,061	278	△ 783	△ 73.8%
法人税等調整額	△ 745	170	915	—
四半期純利益	1,151	1,528	377	32.8%
与信関係費用 (③+⑤-⑥)	4,070	380	△ 3,690	△ 90.7%
有価証券関係損益 (②+⑦+⑧)	2,607	80	△ 2,527	△ 96.9%

(注1) コア業務粗利益 : A = 業務粗利益① - 国債等債券関係損益②

(注2) コア業務純益 : B = 業務純益④ + 一般貸倒引当金繰入額③ - 国債等債券関係損益②